

平成 29 年度 多様な新ニーズに対応する 「がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）」養成プラン インテンシブコースセミナー

日 時: 2017 年 12 月 21 日(木) 13:00~16:10

場 所: 兵庫県立大学 明石看護キャンパス 406 演習室

テーマ: 「臨床アロマセラピーの理論と実践」

講 師: 相原 由花先生 (英国 ITEC 認定アロマセラピスト/ホリスティックケアプロフェッショナルスクール学院長/関西医科大学心療内科学講座研究員)

受講者: 5 名

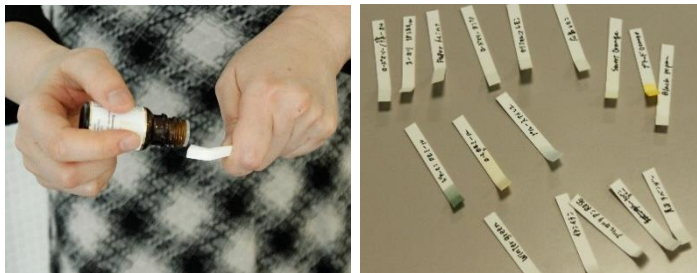
アンケート回収:5 名 (回収率 100%)

主 催: 兵庫県立大学看護学研究科 多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)」養成プラン代表 内布敦子

<概要>

ホリスティックケアプロフェッショナルスクール学院長の相原 由花先生より、「臨床アロマセラピーの理論と実践」と題して、いかにアロマセラピーを看護に使うかについてのお話でした。

アロマセラピーと看護のかかわりあいやアロマ精製方法などのお話の後、何種類ものアロマの香りを実際にかがせて頂き、それぞれの効能や、実際にどういった患者さんに使用してどういう効果があったのかの臨床実例もたくさんお伺いすることができました。

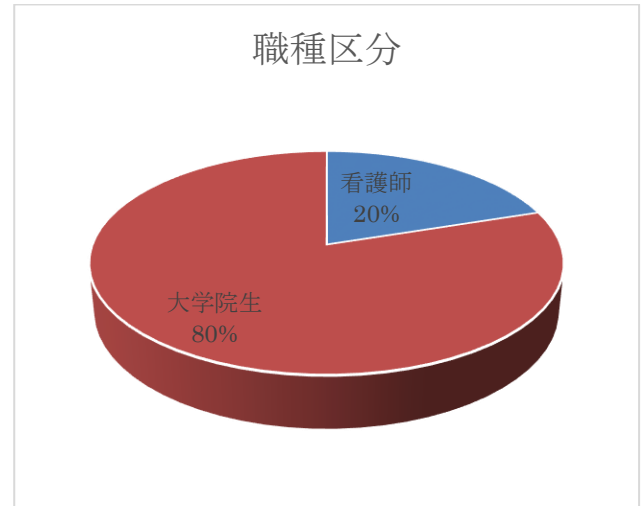
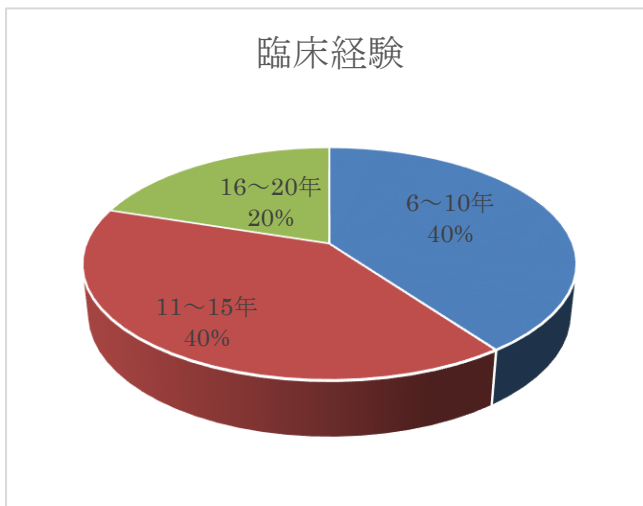
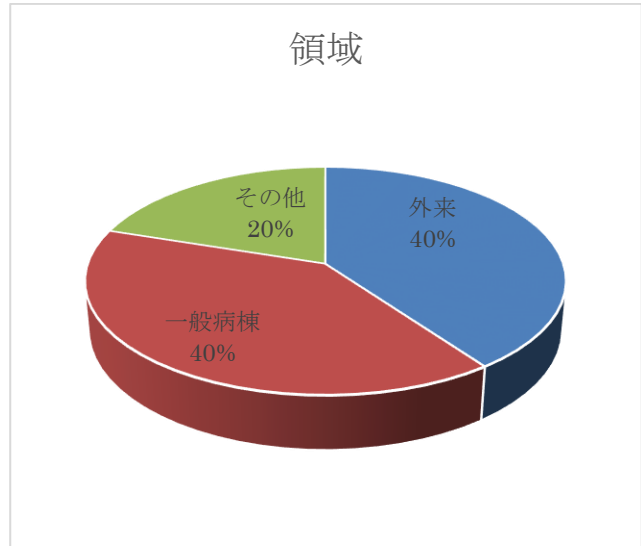
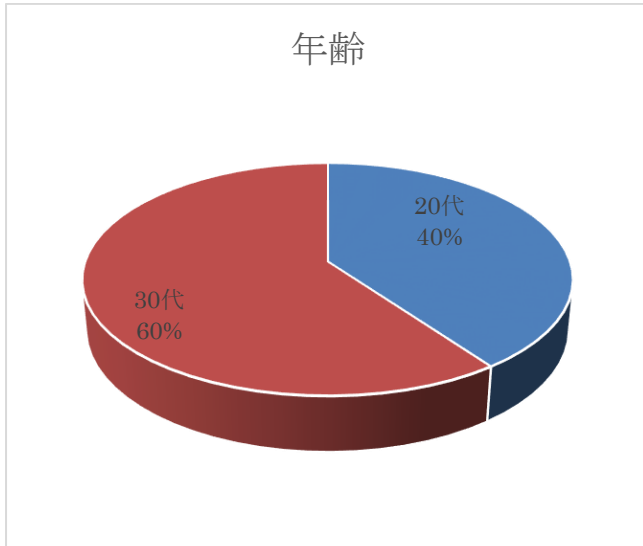


最後に、アロマを使ったマッサージ方法を教えて頂いて、出席者で実際にマッサージし、その効果と難しさを体感しました。今回もアンケートの全ての回答に「非常に役に立つと思う」とコメントをいただくことができました。



<アンケート結果>

●参加者について



●参加者からのコメントより

▼感じたこと、印象に残ったこと

- ・補完代替医療法として、認知症ケア等にも分野が広がっているのをはじめて知りました。記憶に働きかけるという部分でも、とても興味深いです。
- ・「アロマセラピーを使って看護する」ことは難しいけど、アセスメントしながら提案できるといいかと思った。
- ・アロマセラピーをするのではなく、「アロマセラピーを使って看護する」ということがしっかり実践されていると思った。
- ・アロマに興味があったので、今回アロマにさまざまな作用があることが学べたことが良かったです。
- ・CAMなどをどのように看護に落とし込むのかの考え方が印象的でした。

▼がん看護において感じている課題

- ・痛みや息苦しさを看護で緩和させる方法

▼今後セミナーで取り上げて欲しいテーマ

- ・認知症対応、急性期病院でのせん妄、認知症ケアについて
- ・もう一度アロマを希望したいです。

▼その他

- ・発達障害の子供で眠剤を使っている児が多かったので、勉強して、アロマセラピーを使ってケアすることということができれば良いなと思いました。